

JIS

計数值検査に対する抜取検査手順— 第0部：JIS Z 9015 抜取検査システム序論

JIS Z 9015-0 : 1999

(ISO 2859-0 : 1995)

(2005 確認)

平成11年5月20日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。これによってJIS Z 9015 : 1980は廃止され、この規格に置き換えられる。

今回の制定は、国際規格に整合させるために、ISO 2859-0 : 1995を基礎として用いた。

JIS Z 9015 : 1999は、一般名称を“計数値検査に対する抜取検査手順”として、次の各部によって構成される。

- 第0部：JIS Z 9015抜取検査システム序論
- 第1部：ロットごとの検査に対するAQL指標型抜取検査方式
- 第2部：孤立ロットの検査に対するLQ指標型抜取検査方式
- 第3部：スキップロット抜取検査手順

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 11.5.20

官報公示：平成 11.5.20

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審議部会：日本工業標準調査会 基本部会（部会長 今井 秀孝）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部管理システム規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1. 総論	1
1.1 適用範囲	1
1.2 引用規格	1
1.3 定義	2
2. 合否判定抜取検査の全般的序論	2
2.1 抜取検査のねらい	2
2.2 合否判定抜取検査	2
2.3 計数値検査及び計量値検査の選択	4
2.4 ロット検査	4
2.5 連続ロット又は孤立ロットの検査	5
2.6 AQL(合格品質水準)	5
2.7 工程平均	6
2.8 LQ(限界品質)	7
2.9 なみ検査及びきつい検査	7
2.10 ゆるい検査	7
2.11 切替えルール	8
2.12 AOQ(平均出検品質)及びAOQL(平均出検品質限界)	8
2.13 アイテム;製品の単位	9
2.14 不適合及び不適合品	10
2.15 致命的不適合	13
2.16 検査の打ち切り	15
2.17 不合格ロットの処置	15
2.18 1回抜取検査	16
2.19 OC(検査特性)曲線	17
2.20 2回抜取検査	18
2.21 多回抜取検査	19
2.22 逐次抜取検査	19
2.23 スキップロット抜取検査	20
2.24 1回, 2回, 多回及び逐次抜取検査の比較	20
2.25 サンプルの抜取り	24
2.26 抜取(検査)方式, 抜取検査スキーム及び抜取検査システム	28
2.27 分布の特性(2項分布, ポアソン分布及び超幾何分布)	28
3. JIS Z 9015-1抜取検査システム	29
3.1 JIS Z 9015-1の記述	29
3.2 JIS Z 9015-1使用のための関連規定の準備	30

Z 9015-0:1999 (ISO 2859-0:1995) 目次

3.3 不適合及び不適合品のクラス分け	30
3.4 ロット	35
3.5 検査水準の意味	36
3.6 検査水準の決め方	38
3.7 AQLの優先値	40
3.8 AQLの非優先値	41
3.9 AQLの決め方	42
3.10 JIS Z 9015-1の付表からの抜取方式の見出し方	44
3.11 なみ検査	45
3.12 きつい検査	50
3.13 切替えルール	50
3.14 抜取検査の危険率の減少法	51
3.15 ゆるい検査	53
3.16 2回及び多回抜取方式	56
3.17 限界品質及び孤立ロット	57
3.18 サンプルサイズ	58
3.19 OC曲線	58
3.20 AOQLの表	59
3.21 ノモグラフ	60
3.22 所管権限者	63
解説	65

計数値検査に対する抜取検査手順— Z 9015-0:1999

第0部：JIS Z 9015 (ISO 2859-0:1995)

抜取検査システム序論

Sampling procedures for inspection by attributes—

Part 0: Introduction to the JIS Z 9015 attribute sampling system

序文 この規格は、1995年に第1版として発行されたISO 2859-0, Sampling procedures for inspection by attributes—Part 0: Introduction to the ISO 2859 attribute sampling systemを基礎として作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格にはない事項である。

1. 総論

1.1 適用範囲

この規格は、合否判定抜取検査に使用する用語について説明し、いろいろな抜取検査スキームや抜取検査方式について説明し、抜取検査についての実務的助言を与え、また理論的観点からある程度議論する。

2.では、特にJIS Z 9015-1, ISO 2859-2, ISO 2859-3及びISO 8422に与えてある計数値抜取検査のための抜取検査手順及び表を引用して、合否判定抜取検査についての全般的な情報を与える。

3.では、2.に与えられた合否判定抜取検査に対する序論を拡張し、JIS Z 9015-1に含まれる序論的内容及びインストラクションを補足し、JIS Z 9015-1抜取検査システムを構成する抜取検査法の使用を助けるために詳細なコメント及び例を与える。

参考 従来のJIS抜取検査規格体系は、ISO抜取検査規格体系と大幅に異なっている。国際整合性改善のため、JIS抜取検査規格のうちJIS Z 9002～JIS Z 9004(規準型抜取検査)及びJIS Z 9009～JIS Z 9010(逐次抜取検査)は順次改正を予定している。また、JIS Z 9001(抜取検査通則)、JIS Z 9006(選別型抜取検査)、JIS Z 9008(連続生産型抜取検査)及びJIS Z 9011(調整型抜取検査)は廃止を予定している。この規格の2.は、JIS Z 9001と不整合な部分が多いが、JIS Z 9001の廃止以前でも不整合な部分に対しては、この規格の内容を優先的に適用する(解説参照)。

1.2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発効年(又は発行年)を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発効年(又は発行年)を付記していない引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS Z 9015-1 計数値検査のための抜取検査手順—第1部：ロットごとの検査に対するAQL指標型抜取検査方式

備考 ISO/DIS 2859-1.2:1997, Sampling procedures for inspection by attributes—Part 1: Sampling plans indexed by acceptable quality level (AQL) for lot-by-lot inspection が、この規格と一致している。

JIS Z 9015-2 計数値検査に対する抜取検査手順—第2部：孤立ロットの検査に対するLQ指標型抜取検査方式

備考 ISO 2859-2:1985, Sampling procedures for inspection by attributes—Part 2: Sampling plans indexed by limiting quality (LQ) for isolated lot inspection が、この規格と一致している。